

かすや 議会だより

いよいよスタート! 町民と共に創る議会モニター(CCP)会議



冬号

No. 179

2026年
2月6日発行



粕屋町議会ホームページ

議会モニター(CCP)会議 P2・挑む議会 P6



福岡県粕屋町議会



第1回

議会モニター(CCP)会議

令和7年12月18日
ワールドカフェ方式で開催

議員の顔と名前が
一致しない。



議会と住民の
「距離」を
縮める交流と教育

議会モニター(CCP)会議

参加者 〉 モニター16名 議員16名

テーマ 〉 議会だよりと議会全般

活発な意見交換が行われました。

文字が多く
写真が少ない。



広報・情報発信の
「質」と
「届け方」の改善

質問の「期限」
「結果」が見えない。



「やりっぱなし」
にしない追跡調査と
政策提言

YouTubeが長い。



グループワーク発表

今後の取り組むこと

- YouTubeに目次をつける。
- AIによる要約版の作成。
- 公式LINEの活用。
- 住民との意見交換を予算・決算に結び付ける。



デジタル・AIの活用による
「議員の働き方」
と「利便性」

議会ピックアップ

令和7年 第4回(12月)定例会

会期は12月5日から12月15日までの11日間で開催されました。
(審議結果は5ページに記載しています。)

令和7年度一般会計補正予算

3億728万円 減額 ↓

総額 230億479万円

■粕屋西小学校第1期大規模改修工事費、5億8,600万円の減額へ

・減額の理由

工事費の財源として見込んでいた国の補助金「学校施設環境改善交付金」(1億2,041万円)について、国の不採択が決定したためです。

・町の説明

近年、この交付金は少子化に伴う小・中学校の統廃合による新築や老朽化が著しい校舎の改修事業が優先される傾向にあります。今回の不採択も、その影響を受けたものと町は説明しましたが、国からの不採択理由は示されていません。



学校施設の老朽化対策は「児童の安全確保」が最優先事項であるとの認識を共有しました。現在、校舎の外壁剥落などの被害が発生しており、一刻も早い大規模改修工事の実施が必要な状況にあります。

国の予算確保と事業採択を待つ間も、事故を未然に防ぐための応急措置を含む、安心・安全な教育環境の維持に努めることを求めました。議会としても、早期の予算確保に向けた国の動向を注視していきます。

●議案第78号 第6次粕屋町総合計画基本計画の策定について (全員賛成で可決しました。)

町の今後10年間の将来像を定める最上位計画「第6次総合計画(令和8～17年度)」の策定が完了しました。議会は「町民による町民のための計画」となるよう特別委員会を設置。ワークショップへの参加や提言を通じ、策定過程に深く関与し、6月に10年間の指針「基本構想案」を、12月には5か年の具体的施策を示す「基本計画案」をそれぞれ審査・承認しました。

一方、現行条例は策定手続き等の規定が不十分なため、総務建設常任委員会において、町民参加をより強化する条例の見直しを、今後も継続して検討していくこととしました。



～町民の声を議会から～

基幹相談支援センター設置を求める請願書が提出されました。

障がいのある人とその家族が地域で安心して暮らし続けるためには、福祉・教育・医療など多岐にわたる制度や支援を切れ目なくつないでいく仕組みが欠かせません。しかし、町では支援を担当する部署が分かれているため、複数の機関を行き来し同じ説明を繰り返す必要があり、戸惑いを感じる町民の声が届いています。

基幹相談支援センターは、障がいのある方や家族を支える「地域の相談窓口の中核」となる施設です。

相談支援事業者への指導や助言を行い、関係機関等との連携を促進し、誰もが安心して暮らせる地域の相談支援体制を支えています。

(厚生労働省ホームページより)

令和6年4月からは、国により各自治体に基幹相談支援センター設置の努力義務が課されています。

町は、糟屋中南部6町と基幹相談支援センターの共同設置について、10年以上前から協議を重ねてきました。

しかし、各町における課題認識や取り組みの方向性に違いがあることから、現在まで実現には至っていません。

今後は、これまでの経過を踏まえながら、町にとって望ましい相談支援体制のあり方を検討していくことが求められています。



窓口が分かれていますどこに相談すればいいかわからない…

こうした状況を背景として、令和7年11月25日、町内の住民団体から「**基幹相談支援センター**」の設置を求める請願書が議会に提出されました。



請願の主な内容

- ①「基幹相談支援センター」を設置してほしい
- ②基幹相談支援センターの財源確保と専門性の高い相談支援専門員の体制構築を支援してほしい
- ③設置後も、**相談窓口の一元化**による住民負担の軽減や行政の効率化が達成されているかについて、**継続的かつ計測的に検証・評価**し、その進捗状況を住民に定期的に公表してほしい

今回、議会は町民の切実な声を重く受け止め、本請願を「継続審査※」としました。

行政と議会が力を合わせ、障がいのある人や家族に切れ目のない支援体制を築くため、町の現状に即した運営や財源について調査・検討を進めていきます。

町民にとって最も実効性のある「最善の支援」の実現を目指し、議論を深めていきます。

※継続審査⇒会期中に結論が出なかった請願について、閉会中も委員会で引き続き審査を行うこと。

一目でわかる審議結果

令和7年12月定例会に提出されたのは、議案10件、発議1件、請願1件です。

議案番号	◎議案名 (わかりやすい文言に置き換えています)	採決結果	賛成(人)	堀本 高良	牟田口 直輝	川崎 尚子	古家 昌和	田代 勘	杉野 公彦	案浦 兼敏	福永 善之	川口 晃	田川 正治	小池 弘基	本田 芳枝	宮崎 広子	山脇 秀隆	安藤 和寿	末若 憲治
81	町営住宅条例の一部改正	可決	13	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
82	令和7年度 一般会計補正予算(第3回)	可決	13	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
84	令和7年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)	可決	12	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○

○⇒賛成 ●⇒反対 一⇒退席 欠⇒欠席 ※議長は採決に加わりません



議案
81号

「粕屋町営住宅条例の一部を 改正する条例」についての討論

可決



反対
討論

ふく なが よし ゆき
福永 善之

改正案は、入居資格として「町税を滞納していない」という条件の緩和である。反対理由は2点ある。

公営住宅は税金が投下されており、市場価格より低廉な家賃である。入居申し込みに当たり、滞納がないことが、入居希望者の約束の1つと考える。2点目は、国・県・町の役割分担である。公営住宅という同じ事業を県と町が相互にやる必然性はない。住宅困窮者のセーフティーネットは、地方ではなく国が責任を持つべき。



賛成
討論

ふる いえ まさ かず
古家 昌和

納税義務の形骸化防止のため、納税計画履行を入居継続の条件とすることや、町営住宅の安定運営と職員の負担軽減に向けた、民間ノウハウによる家賃債権保全の原則必須化の速やかな検討など、厳格なリスク管理が必要であるが、町税滞納者であっても納税相談があれば入居資格を認めるという、生活困窮者等へのセーフティーネット強化の趣旨に賛同する。

以下の議案は、全会一致で原案通り可決(採択)しました。

議案番号	◎議案名	議案番号	◎議案名
78	第6次総合計画基本計画の策定	85	令和7年度 介護保険特別会計補正予算(第2回)
79	グラウンド照明施設設置条例の一部改正	86	令和7年度 水道事業会計補正予算(第2回)
80	町立小学校及び中学校設置条例の一部改正	87	住居表示を実施すべき区域及び当該区域内の住居表示の方法
83	令和7年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	発議第4号	議会委員会条例の一部改正

※請願第2号「基幹相談支援センター設置に関する請願」は、全会一致で継続審査としました。

粕屋町議会
イメージ
キャラクター
「かすカモ」



右のQRコードより本会議の様子を
ホームページでもご覧になれます。

▶定例会
開会日



▶定例会
閉会日



議会

特別委員会▶常任委員会へ

設置の理由

予算及び決算審査の充実を図るとともに、分科会を設け、専門性を高めるためです。

どう変わるの!?

お答えします!!

今回の改正で変わる
ポイントが大きく2つあります。

- ①決算審査の結果を次年度当初予算審査への確に反映させる流れを明確化することにより、議会としてEBPM※を重視した審査へと転換します。
- ②議案や町が実施する施策・事業は、通常、各所管委員会において審査及び調査研究が行われています。予算及び決算についても分科会に分かれて審査を行うことで、所管分野ごとの専門性を生かし、よりの確かつ深度ある審査を実施します。

※EBPM(Evidence-Based Policy Making)エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング
統計データ、結果や成果などの“客観的なエビデンス(証拠)”を活用して、政策の立案・実施・評価・改善を行う考え方。

委員長



安藤 和寿

副議長

副委員長



宮崎 広子

文教厚生
常任委員長

副委員長



田代 勘

総務建設
常任委員長

構成委員:16名全員

予算決算常任委員会

設置

熊本県大津町議会 議会改革推進特別委員会の視察を受け入れました。

実施日 令和7年11月21日

議会活性化の取り組みについて

- (1)議会基本条例の制定経緯や取り組み状況
- (2)反問権、一問一答方式の検討・運用状況
- (3)議会報告会
- (4)各種団体懇談会

について、粕屋町議会の取り組みを説明しました。

また、議員活動の見える化や議会局への変更の経緯等について質問を受け、大津町議会委員の熱心な姿勢に粕屋町議会としても大いに刺激を受ける時間となりました。



挑む

議員研修会 ● 議会が議論し質問すべき政策テーマとは何か

実施日 令和7年11月13日、14日

参加人数 19名(議員16名、職員3名)

講師 一般社団法人 地方公共団体政策支援機構 上席研究員 わたなべ たいき 渡辺 太樹 氏



初日は、議会が住民福祉と地域発展を目指し、データに基づく現状把握から課題を特定し、政策提言を行う重要性を学びました。議会は住民起点で政策を検討し、政策サイクルを活用して持続可能な町づくりを目指すべきとのことでした。

2日目はワークショップ形式にて、住民の人口動態について話し合いを行い、世帯数的には転入増だが人口では減少している現状について、単身世帯が増加し子どもが居る世帯が減少していることなどが分かりました。

今後は、一般質問や委員会等において、データに基づき行政に対し積極的に意見や質疑を行っていきます。

議員研修会 ● 目指すべき議会像とは～住民起点の議会をどうつくる？～

実施日 令和7年12月19日

参加人数 18名(議員15名、職員3名)

講師 ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州 代表
輝け! 議会 対話による地方議会活性化フォーラム 呼びかけ人代表 かんき のぶゆき 神吉 信之 氏

地方議会の課題として、住民の関心の低さや機能不全が指摘されています。理想の議会像は住民参加や情報共有を重視し、政策提言や行政監視を果たすこと。議会改革には、広報・広聴活動、DX導入、主権者教育が重要とのことでした。

現在議会モニター制度をスタートしており、議会モニター(CCP)とさまざまな分野で意見交換を行い住民参加の議会づくりを進めています。



文教厚生常任委員会

「第53回粕屋町文化祭」にて広聴活動を実施

実施日 令和7年11月1日

参加人数 議員7名

当町における「社会保険料に関する負担感」に関するアンケートを実施しました。

また、町民の皆さんのお悩みや議会へのご意見などいただくことができました。

引き続き調査を継続していきます。



社会保険料の負担感はあるが、医療提供体制を維持するためであると一定の理解と受容があることが示されました。また、町民の皆さんから議員と直接話せる貴重な機会だったので、これからも広聴活動を続けてほしいとご意見をいただきました。

「社会教育委員の会」との出前議会意見交換会を実施

実施日 令和7年11月12日

参加人数 14名(社会教育委員の会7名、議員7名)

「子どもの居場所づくり」をテーマに現状の確認をはじめ、問題点や課題の共有などを行いました。

想定した時間を超えても双方から意見が出ていたため、意見交換会を継続して行っていくこととなりました。

今回いただいたご意見を参考に可能な限り町の施策に反映できるよう進めていきます。



総務建設常任委員会

おおぎがみ い せき

扇上井堰改修工事の現地視察

実施日 令和7年10月27日

参加人数 議員8名



扇上井堰は、昭和42年の竣工から58年が経過しており、本視察は、堰の現状と維持管理状況を確認することを目的として実施しました。

扇上井堰は、川の水位を調整し、用水路へ安定的に水を供給する重要な施設であり、地域の農業を長年にわたり支えてきました。現地では、堰の構造などの説明を受けるとともに、老朽化が見られる箇所や管理状況の確認をしました。

扇上井堰が果たす役割の大きさを改めて認識すると同時に、継続的な点検や適切な改修の必要性を強く感じました。今後も、関係機関と連携しながら、水利施設の適切な維持管理と地域農業の振興に努めていきます。

議会広報常任委員会

県町村議会議長会 広報研修会 ・戦略的広報と議会報づくりの型

実施日 令和7年11月7日 参加人数 議員8名

講師 一般社団法人 自治体広報広聴研究所 代表理事

広報アドバイザー 金井 茂樹 氏



講演では、議会広報を住民の関心を引くための「戦略的な情報発信ツール」として、さまざまな媒体を活用する必要性が説かれました。また、誰に、何を、どのように伝え、どうなってもらうか目的を明確化し、企画(P)、編集(D)、評価(C)、改善(A)を継続的に行っていくことが必要ということでした。

当議会でも議会だよりをはじめ、さまざまな媒体を用いて広報を行っていますが、町民の皆さんに議会の情報を的確にお届けできるよう、さらに研究を進めていきます。

町政を問う 一般質問

令和7年12月8日～9日実施

粕屋町では会期の始めに行っています。議員は町政全般にわたって、町長など執行機関の考えを問いただします。質問の内容は事前に通告し、持ち時間60分の範囲で1問1答※で行います。 ※質問、答弁を理解するまで繰り返す方法

記事は会議録に基づき、議員個々の原稿を議員責任の下に掲載しております。
また写真なども議員提出によるものを掲載しています。
詳細は会議録【ホームページに掲載】をご参照ください。

掲載は
質問順と
しています。

P10 堀本 高良 議員

- ① 中学校武道場の空調設備の進捗は
- ② 啓発施設登録で県の補助金活用は

P11 川崎 尚子 議員

- ① 相談体制は町の計画に沿う姿と認識しているか

P11 福永 善之 議員

- ① 重点支援交付金、町民のニーズの確認は

P12 本田 芳枝 議員

- ① 待機児童の多さが人口流出の原因では

P12 牟田口 直輝 議員

- ① 町が担う地域公共交通の役割は

P13 川口 晃 議員

- ① 須恵川土手西側の除草の理由は
- ② 町立小・中学校のいじめの件数は

P13 宮崎 広子 議員

- ① 第二こども館の進捗状況は

P14 案浦 兼敏 議員

- ① 町民との共創によるまちづくりの取り組みは

P14 田川 正治 議員

- ① 生活保護の大幅な引き下げに伴う支援は

P15 山脇 秀隆 議員

- ① 重点支援交付金をいち早く町民に
- ② 高齢者の働く場の提供を

堀本

駕与丁公園をワンヘルス啓発施設に登録し、補助金の活用は。

都市計画課長

啓発施設登録で

県の補助金活用は

教育部長

使用状況や希望等を確認し、設置するなら財源が必要になり、交付金等使えるものがあるのか。そして、使うには機器の仕様や施工方法等によって適用の可否が変わるため、現状検討を進めている段階である。

堀本

本年9月に行われた令和6年度決算特別委員会で、中学校武道場の空調設備について質問し、設置を検討するとの答弁だったが、進捗状況は。

教育部長

検討を進めている段階

中学校武道場の空調設備の進捗は



堀本 高良 議員

健康づくり課長

組みについて、町独自で行っている。盛況だったのに、続けないといけないと思う。



ワンヘルス啓発施設に認定された駕与丁公園

堀本

町独自でワンヘルスの取り組みは。

町長

駕与丁公園は町のシンボルであり、今回の認定を受け、さらなる充実を図っていききたい。

堀本

ワンヘルスに関わることで全てが対象になる補助金であり、啓発看板以外の検討は。

都市計画課長

県へ申請を行い、12月3日に認定。今後は県の補助制度を活用し、啓発看板の設置を予定。

動画はコチラから





かわさき
川崎

なおこ
尚子
議員

動画はコチラから



相談体制は町の計画に沿う姿と認識しているか

住民福祉部長

基幹相談センターの必要性は認識している

町の療育支援事業の成果から、今後も確実に支援を必要とする子が増えていくのは明らかだ。こうした利用増の状況をどのようにに認識しているか。

障がい児サービス利用の計画相談利用数は今後も増加すると見込んでいる。今年度新しく開所した事業所や、相談員を増員している事業所があり、利用増に対応できるよう状況を注視していきたい。

要支援とされた子の保護者が、スムーズに相談につながらない現状を把握しているか。

相談員の不足で支援開始が遅れた事例は、今のところ把握で



ふくなが
福永

よしゆき
善之
議員

動画はコチラから



重点支援交付金、町民ニーズの確認は

財政課長

国が国民のニーズを捉えたものと認識

令和5年11月に始まった、重点支援交付金。今年度、町から6月と9月の定例会で議案があった。交付金の活用に関し、町民ニーズを確認したか。

交付金を活用し、生活者と事業者を支援する6事業を実施。全て国が示す推奨事業メニューに基づいたもの。国が国民のニーズを捉えたものと認識。

国が取ったニーズが町民のニーズということか。

国民のニーズ、イコール、町民のニーズと捉えている。

町民や納税者に対し、あなたが払った税金を何に使ってほしいですか、という投げかけは。

スピード感を持つての対応が優先。物価高騰に対し、生活者視

町長

線で支援していくことを考えれば、国の推奨メニューから選ぶことが、最大公約数の結果と捉えている。

福永

6月と9月の交付金による費用対効果は。

財政課長

これらの事業の主な目的が、生活者支援や経営の安定化であり、費用対効果を数値で示すことは難しい。

福永

内閣府はこの交付金の使途について、推奨メニュー以外で、効果があるものについては申請可能と明文化している。町は使わないのか。

財政課長

推奨メニュー以上に効果がある理由を明らかにする必要がある、難しいが検討はしたい。

福永

町民税や水道料金を安くすることは。

財政課長

交付金を税金の減免に充当することはできない。水道基本料金の減免は推奨メニューに入っているが、検討の結果採用しなかった。



ほんだ
本 田 芳 枝
議 員

動画はコチラから



待機児童の多さが人口流出の原因では

町長

分析を含め対策を考える

令和7年6月定例会での請願を受けて、仲原・中央小学校児童保育の待機児童解消に向けて具体的な拡充は。

仲原小学校児童保育所は保育所側の1教室、中央小学校は中央幼稚園の閉園に伴い職員室を当てる。また遊戯室の使用も予定している。

町の人口減少が進んでおり、特に子育て世代の流出が目立つ。

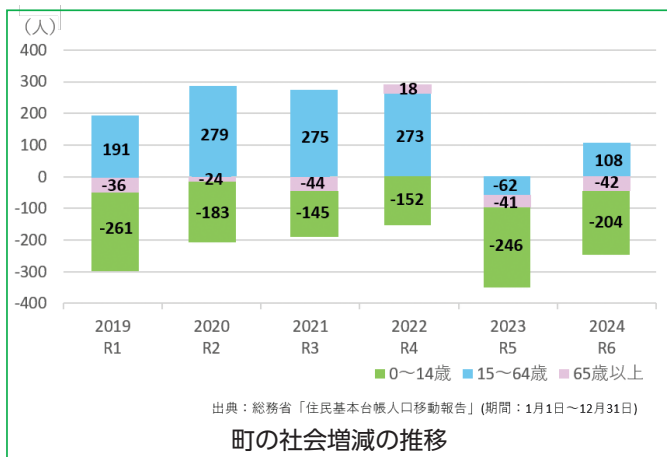
結婚を機に転入した人たちが、ある程度子育てを行った後、転出している。原因は土地が高く、持家を検討する時期に安さを求めているの転出と分析していた。しかし、県放課後児童クラブ実施状況を調べ、考えが変わった。町では児童保育の待機児童数が昨年度は県内トップと多い一方、近

本田

町長

隣自治体では少ない。福岡市の場合6年生まで預けられて待機がゼロ。安心して子どもを預けられる場所を求めている子育て世代の流出ではないか。もったいないと思う。町の分析は。

教育環境、保育環境、共働きで子どもを預けたいということだが、さまざまな要因の中で、それぞれの部分で力を入れないといけない。分析も含めたうえで今後の対策を考える。



むたぐちなおき
牟 田 口 直 輝
議 員

動画はコチラから



町が担う

地域公共交通の役割は

都市計画課長

交通空白地の移動利便性向上を図る

AIオンデマンドバス「のーと粕屋」実証運行の成果と現状の評価は。

94%の利用者から良い評価を頂いた。AIの学習により、定時運行比率は運行当初は66%であったが、11月中旬は98%と改善できている。

交通空白地や交通弱者への対策は十分なのか、更なる対策は。

のーと粕屋は、町内巡回バスの課題を解決するために運行を開始した。交通空白地や交通弱者の対応も、小型車両で定路線でない運行を利用して、バス停を住宅街や施設付近などに多く配置し、交通空白地の解消に

都市計画課長

牟田口

町長

牟田口

都市計画課長

アプリでの予約が難しい方への対応は。登録・予約方法の説明会は今後も継続するのか。

先進自治体も、数年かけて住民の方々に丁寧に細かく説明会をやっている。100%に近い方が、のーとの活用についての知識を深めてもらって、実際に乗ってもらうことが大事。予約方法などの説明会は、今後も行う予定である。

町が担う地域公共交通の役割とは。

地域公共交通は地域住民が通勤通学、通院、買い物など日常生活圏を移動する際に利用する公共交通機関と位置づけられている。町としては、鉄道、路線バスでは手の届かない地域の移動手段、利便性向上のために事業を運営することが役割だと考えている。



かわぐち あきら
川口 晃 議員

動画はコチラから



須恵川土手西側の 除草の理由は

町長

予算内で、要望書に
基づいて実施された

川口

須恵川の浚渫^{しゅんせつ}については県議
の援助も得て、県土整備事務所
と3度ほど折衝し、阿恵橋上・下
流部、扇橋上・下流部の浚渫が2、
3度行われた。

しかし、西側土手の草木の除
草、伐採は頑として拒んできた。
「確かに山は動いた」。まずはな
ぜ除草が実施されたのか。

県の回答では、予算に限りがあ
るので、順番を付けてということ。
私も非常に目に付いたので、
個別でも県土整備事務所長に会
う度に要望した。事務的には何
らかの理由があると思うが、本
当の理由はわからない。毎年
の除草、伐採は難しいが、7年度は
要望書に基づいて実施したとの
回答であった。

町長

町立小・中・立学校の いじめの件数は

教育部長

国の水準を下回っている

川口

報道では、24年度分が76万9、
000件で、4年連続増加。福岡
県は23年度分が1万9、341
件で過去最高。町のいじめ件数
はどの程度か。

いじめの発生件数は令和6年
度のもので1,000人当たり国
は小学校が101.9人、中学校
は42.6人。町では小学校が32.
7人、中学校は23.3人。いづれ
も大きく下回っている。

文科省では解消に向けたスタ
ートラインに立っていると肯定
的にとらえており、町でも「いじ
めの認知」を積極的に推奨して
いる。
また、重大事態はこころばら
く起こっていない。

教育部長



みやざき ひろこ
宮崎 広子 議員

動画はコチラから



第二こども館の 進捗状況は

町長

現状では難しいが、
ゆくゆくは実現したい

宮崎

教育相談室「ぽると」の利用者
が増加している割に場所が変わ
らない。スペースの問題は。

登録者は年々増加しており、
運営体制は会計年度職員を4名
増員し、交代で見守りしている。
見守りが増えた事で活動範囲を
広げ、こども館の部屋の使用や
テニスコートでテニス体験、カ
フェ体験などをしている。周囲施
設との連携を強化しながら工夫
して運営している。

宮崎

ふれあいバスを利用していた
移動や通所が「のーと」になる。
その運賃の支援は。

教育部長

「給食チャレンジ」でぽると職
員が引率する場合、公費負担を

教育部長

考えているが、子どもへの補助は
検討を進めている。通所の支援は
保護者の送迎や西鉄バスの利用
があり、公平性から考えると難
しい。

宮崎

学校に通いたくても通えない
状況によって、保護者の負担に
なっている。勤務先や就労時間
を変えたりする状況も生まれて
いる。少しでも負担を減らすこ
とを考えるべきだ。

宮崎

以前他の議員が、第二こども
館の設置計画の質問をした際、
継続して検討することのことで
あったが、その進捗状況は。

町長

こども館は、財政的問題、場所
の問題、土地の問題もありなかな
か難しい。小規模でもいいから不
登校の子ども達も含め、悩みを
持っている子ども達が気軽に相談
できるような施設ができないか、
特に町の西の部分で検討している。
ゆくゆくは第二こども館という
形で何とか実現したいと思う。



あんのうら
案浦 兼敏
議員

動画はコチラから



**町民との共創による
まちづくりの取り組みは**

町長

関心がある方を行政が
背中を押す方策で

第6次粕屋町総合計画・基本

計画の「まちの運営」について、
「みんなで共創する魅力あるま
ちづくりを進めます」とある。

案浦

町民アンケート調査では、ボ
ランティアなどのまちづくり活
動への参加意欲が低下しており、
地域においても、地域行事への参
加者の減少、役員の不足
などの問題を抱えている。
町民と行政の共創による
まちづくりを進めるため、
どのような取り組みを考
えているか。

地域共創課長

令和8年1月31日に、
ボランティア団体と町民
の交流会を予定している。
まちづくり活動支援室が
町内のまちづくりボラン
ティアの基盤となるよう、

将来像実現のために

みんなで共創する魅力ある
まちづくりを進めます

限られた経営資源を計画的かつ効率的に活用しながら、町民と行政の共創
による魅力あるまちをつくります。

分野を代表する指標

Well-Being		Well-Being	
行政は地域のことを真剣に 考えている		行政サービスのデジタル化が 進んでいる	
現状値 (R7)	目標値 (R12)	現状値 (R7)	目標値 (R12)
54.9	67.3	57.9	64.8
Well-Being		人口あたりの地方税収	
地域活動への住民参加が盛んである		自治体DX指数	
現状値 (R7)	目標値 (R12)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
59.6	70.5	154,534 円/年	192,000 円/年
福岡都市圏内における社会増減数		自治体DX指数	
現状値 (R6)	目標値 (R12)	現状値 (R6)	目標値 (R12)
▲420人/年	±0人/年	39.6	64.1

総合計画・基本計画に示された「まちの運営」

町長

さまざまなまちづくり活動な
どに関心がある方々を行政が背
中を押す、その方策を職員に研
修等で勉強させている。
住民参加を呼び込むボランティ
アは、町の活性化につながるもの
で、その方向で進めていきたい。

案浦

地域共創課長

一人でも多くの町民が積極的に参
加できる環境を整備していきたい。
以前紹介した大刀洗町の「自
分ごと化会議」を参考に、地域共
創課とまちづくり活動支援室が
協力し、地域や町の課題を「自分
ごと」と捉え、課題解決に積極的
に取り組む町民を増やす方策を
検討してはどうか。

たがわ
田川 正治
議員

動画はコチラから



**生活保護の大幅な
引き下げに伴う支援は**

町長

連動する諸制度は
今後の検討課題だ

最高裁が国の生活保護基準の

田川

引き下げは違法と判決を下した。
生活保護の引き下げによって
影響を受ける、連動する47の諸
制度を見直して従来と変わらな
い同様の支援制度を拡充するこ
とが必要だ。
生活保護の引き下げで影響す
る、税金の非課税限度額、就学援
助、介護、医療、国保、町営住宅
などの問題について検討された
か。

町長

社会保障費は、10年前に比べ
ると数倍の予算また決算額に
なっている。そういった社会的な
要請を受けながら、福祉面とし
て教育面、子育て支援面につい
ても、対応していく必要がある

田川

生活保護の引き下げは、生活
保護を利用している人だけの問
題でなく、47の施策に影響する。
減免の条例など、町独自の条例
として作ることが必要では。

町長

対応してきた。
引き下げに連動する諸制度の
問題は、今後の検討課題として
考えたい。

町長

さまざま減免あるいは非課
税などについても、やはり生活保
護を基準としたものが国全体と
しては浸透している。今回の判
例によりさまざまな変化が起き
ると思う。
国、県から通知が今後来ると
思うので調査研究して、検討課
題とさせていただきたい。

その他の質問

- マイナ保険証の交付や利用、医療
機関での医療費の支払いは
外国人共生社会の実現のための
福祉制度を



やまわき
山脇

ひでたか
秀隆
議員

動画はコチラから



重点支援交付金を
いち早く町民に

町長

トップダウンで
スピーディーに

山脇
物価高に苦しむ家計の負担を軽減する、物価対策の財源となる重点支援地方交付金が拡充されたが。

総務部長
今後、国からの詳細が示され次第、適切かつ速やかな対応を行い、物価高騰への支援に努めたい。

山脇
物価高のあおりを受けているのは、町民全ての方だと実感するところだ。全ての町民にさらなる支援が必要だ。スピード感を持って支援が行き届くような実施計画の考えは。

町長
この全容がつかめた段階で、一番スピーディーにやれる選択肢を選びたい。今回は、比較的トップダウンに寄るかと思う。

高齢者の働く場の
提供を

町長

就労機会に
つなぐことが大事だ

山脇
2025年には団塊の世代が75歳以上となり、町においても高齢者の増加が著しい。働きたくても働く場所がないなど、高齢者の働く意欲に応えきれない問題があるが、現状は。

高齡者福祉課長
「高齢社会白書」によると、高齢者世帯の所得は他の世帯と比較して低く、公的年金等が主な収入源となっている。高齢者が就業しやすい環境を整備し、公的年金に加え、生活の質を向上させるための支援が重要と認識している。

山脇
高齢者が希望に応じて働ける場の提供を町長は何をもってやっていくのか。

町長
就労機会につなぐような組織的な強化をしていきたい。



粕屋町議会

公式SNSを開設しました



・Facebook
・Instagram

公式Facebook

<https://www.facebook.com/share/1BMLuio4Pg/?mibextid=wwXlfr>



公式Instagram

<https://www.instagram.com/kasuyamachigikai?igsh=bW96MjVsY3V0N2Uw>



粕屋町議会公式YouTubeチャンネルに続き、令和7年9月から公式FacebookとInstagramを開設しています。これまで以上に多くの方に粕屋町議会に興味を持っていただけるよう、情報を発信していきます。いいね、フォローをお願いします♪

よろしくです〜





交流ひろば

～かすやびと
スポットライト～

今回のかすやびとは、地域と学校のつなぎ役「社会教育委員の会」をご紹介します。

Q どんな団体ですか？

A 教育委員会から委嘱^{いしよく}を受けた10名（現在は社会教育関係者7名、学校教育関係者3名）の社会教育委員が、毎月^{いしよく}の定例会や適宜必要な研修会等を開催し、主に社会教育に関する諸計画の企画立案について協議しています。

Q 活動内容は？

A 「地域のこどもは地域で育てる」～こどもも大人も育つ“まち”粕屋町～をスローガンとし、こどもと地域の大人が関わる居場所づくりにつながる、寺子屋教室の拡充を目指しています。また、令和7年から配置された「地域学校協働活動推進員」の活動支援も行っています。



Q 読者へメッセージをお願いします。

A こどもと地域の大人が関わる居場所づくり、その一つの活動として粕屋町寺子屋事業があります。皆さんに知っていただき、話題にさせていただいて、そして「できる人が、できるときに、できることを」で皆さんにもご参加ご支援いただきたいと思います。
“こどもたちにこんな体験をさせたい、でも場所や支援者がいない・・・”是非、お声掛けください。

○連絡先：粕屋町教育部社会教育課

編集後記

新年を迎え、議会としても気持ちを新たにスタートしており、来年度を見据えた重要な議論も重ねています。今号は、「議会って難しそう・・・」と
思っている方にこそ手に取ってほしい一冊です。
実は中身は私たちの暮らしに直結する話題ばかり。この編集後記を読んでいるあなた、これであ
なたも「議会だより常連さん」の仲間入りです。

なおき

お知らせ

次回3月議会は・・・

2月26日(木) : 3月2日(月)
9:30 開会(予定) : 9:30 一般質問(予定)

議会は、手続き不要で傍聴することができます。
傍聴を希望される方は、役場3階にお越しください。



UD FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。